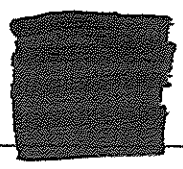


受付
27.12.-7
企画部

共通第11号様式(第17条第1項)



平成27年度 補助金等実績報告書

平成27年12月7日

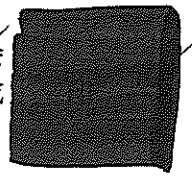
函館市長 工藤 壽樹 様

〒041-0852

住 所 函館市鍛冶1丁目2-3

補助事業者等

団体名 函館日韓友好親善協会
代表者氏名 会長 福島 憲成



補助事業等の名称 韓国高陽市での姉妹都市交流事業

平成27年10月28日函企国をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、平成27年12月7日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額	金200,000円
補助金等領収済額	金200,000円
補助金等領収未済額	金 0円

補助事業等の実績書

名 称	韓国高陽市での姉妹都市交流事業
開 催 期 日	平成27年11月21日～25日 (高陽市滞在23日～25日)
開 催 場 所	韓国高陽市
主催者，共催者 および後援者等	函館日韓友好親善協会
参 加 人 員	8名（うち市内在住者5名）別添名簿のとおり
補 助 事 業 等 の 内 容	姉妹都市である韓国高陽市との友好親善を促進するため，高陽市へ当会会員等を派遣し，こども園や大学での交流事業のほか，市役所への表敬訪問などを行った。
補 助 事 業 等 の 実 施 に よ る 効 果	当該事業の実施により訪問した JoongBu 大学や市立馬頭こども園からは，連携協定や相互研修の提案があり，特に高陽市教育関係者との間において交流の推進が図られ，今後における市民レベルでの交流の進展に寄与することができた。
備 考	

- (注)
1. この様式は，大会等の開催その他これに類する事業等に補助金等の交付を申請し，または，これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 補助事業等の内容は，詳細に記載すること。（別紙も可）
 3. その他必要と認めた書類を添付すること。

補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
自己資金	563,000	563,000	424,290	424,290	△138,710	△138,710	
函館市補助金	200,000	200,000	200,000	200,000	0	0	
合 計	763,000	763,000	624,290	624,290	△138,710	△138,710	

支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
記念品代	30,000	30,000	0	0	30,000	30,000	
旅費・滞在費	680,000	680,000	546,290	546,290	133,710	113,710	
交流経費	53,000	53,000	78,000	78,000	△25,000	△25,000	
合 計	763,000	763,000	624,290	624,290	138,710	138,710	

※実績報告の場合 収支差引額 0円

- (注) 1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認めた書類を添付すること。

決算額内訳一覧

(収入の部)

(単位：円)

項 目	本年度決算額		積算内訳	備 考
		うち, 補助対象事業		
自己資金	424,290	424,290	参加者負担金	
函館市補助金	200,000	200,000	函館市国際交流事業活動補助金	
合 計	624,290	624,290		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算（決算）書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。

決算額内訳一覧

(支出の部)

(単位：円)

項 目	本年度決算額		積算内訳	備 考
		うち、 補助対象事業		
記念品代	0	0		
旅費・滞在費	546,290	546,290	航空運賃 ・函館＝羽田往復 @20,000×4名＝80,000円 ・羽田＝ソウル金浦往復 @40,000×4名＝160,000円 ・新千歳＝ソウル仁川往復 @70,000×1名＝70,000円 ・新千歳→函館 @12,000×1名＝12,000円 JR運賃 ・函館→新千歳 @8,110×1名＝8,110円 航空税 @6,730×4名＝26,920円 @4,260×1名＝4,260円 燃料サーチャージ @1,000×5名＝5,000円 宿泊代（高陽市2泊） @36,000×5名＝180,000円	1名については予約時点で満席（函館＝羽田＝ソウル金浦）により団体割引料金の適用とならなかったため、割安な別ルート（函館＝新千歳＝ソウル仁川）を選択。
交流経費	78,000	78,000	車両手配費用 ・66,000円 現地ガイド代 ・12,000円	高陽市滞在関係分 高陽市滞在関係分
合 計	624,290	624,290		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算（決算）書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。